

# 分科会

2019年12月1日(日) 9:30~11:30

## <分科会①>

テ ー マ	地方政治における女性の参画拡大		
開催趣旨	男女共同参画基本計画には「政策・方針決定過程への女性の参画拡大」が掲げられ、「202030」の政府目標はまもなくリミットを迎えますが、政治分野の女性の参画は進んでいません。民主主義の達成のため、またジェンダー・ギャップ指数の低順位脱却のためにも、国会のみならず、生活に身近な存在である地方政治においても、女性の参画を拡大していくことが必要です。男女共同参画センターは地方政治における女性の参画拡大に貢献できるのでしょうか。浜松の試行事例のもとに、課題や可能な取組について話し合います。		
会 場	あいホール 1Fホール	出席者数	25名
進 行	浜松男女共同参画推進協会 井出あゆみ	運営協力	書記（港区立男女平等参画センター「リーブラ」須藤延恵、特定非営利活動法人男女共同参画フォーラムしずおか 松下光恵、広島市男女共同参画推進センター 宮垣賀代、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」荻原くるみ）
		配布資料	
		・レジュメ ・次第 ・参加者名簿 ・ワークシート	
内 容			
<b>&lt;概要&gt;</b> ・特定非営利活動法人浜松男女共同参画推進協会の取組 ① 「あいゆうねっと」と浜松市議会議員との意見交換会 議会と市民を繋ぎ「女性議員増」への期待を込めて（報告者：波多野千津子さん）。 ② 「浜松市の女性市議と語る会」とアンケートからみる女性の政治参画への課題とその支援について（報告者：道喜道恵さん）			
<b>&lt;プログラム（進行）&gt;</b> 9:30~10:00 事例報告①と質疑応答 10:00~10:30 事例報告②と質疑応答 10:30~11:30 グループディスカッション（4グループ）			
<b>&lt;まとめ&gt;</b> 1. 事例報告を受けてのグループディスカッションでは、報告を聴いての感想、女性の政治参画の課題と解決法、男女共同参画センターにできること、自センターでできること、自身が取り組みたいと思うことなどについて、自由に話し合った。			

2. 現在実践している取組または今後の取組に関して、次のような意見が出された。
- ・企業内でも男女共同参画事業もやっていかないといけないと気づいた。社内に戻って発信していきたい。
  - ・発表で気づきがあった。自センターでも議員とのつながりをもっていきたい。
  - ・トップの意識が大事。政治参画の場作りに、センターで取り組んでみたい。
  - ・センターの役割として政治参画の女性への取り組みが必要と思っている。
  - ・センターでリーダー育成の講座をやっていくことが必要。
  - ・所管課との調整が難しいが、上手に理解してもらえるよう話しながら政治的なことをやっていきたい。
  - ・所管課団体と連携を取る。法律に基づいてこの事業をやろうというように企画している。
  - ・女性の政治参画につながるよう政治に関心を持ってもらい、参加してもらえるような講座を開いていきたい。
  - ・出前講座で女性リーダー研修をしたい。女性が発信することが大切である。
  - ・企業向け、地域の人向けに、リーダー研修をしていきたい。
  - ・若い人へのアプローチを心掛けたい。政治参画へのフォロー。男女共同参画の勉強をしていきたい。政治の勉強もしていきたい。
  - ・女性だけの小グループの会で課題整理して意見を出し合い、男女ともに参加する大きな会へと拡大していく。
  - ・NPO 法人や市民団体との協力で進めている。
  - ・男性議員の方の意識改革も必要。センターの行事に招待して、男女共同参画について伝えるようにしている。
  - ・女性の自信のなさを解決するために、センターのセミナー等で取り組みたい。
  - ・有権者の知識を高める活動、勉強会などからスタートするのが入りやすいかも。
  - ・若年層教育、社会的教育、社会科の女性の先生とのコラボも良いのでは。
  - ・理系女子だけじゃない、社会科教育も必要。
  - ・生活に密着した寄り添いが大切なので実践したい。
  - ・地域の見守りサロンを作りたい。
  - ・男性だけのおしゃべりサロンが良い場になっている。広げたい。
  - ・身近な人が立候補したが、こういう人を支援していくことが大切である。
3. 全体を通して、生活に身近な存在である地方政治において女性の参画を拡大していくために男女共同参画センターにできることがある、ということを確認し、次の見解を共有した。
- ・「政治分野における男女共同参画推進法」が2018年に制定されたことを契機として、センターの推進事業の中に政治分野への推進を明確に取り込んでいきたい。
  - ・殆どのセンターで行われている人材育成事業（女性のリーダー育成事業）に、審議会や地域活動で活躍する女性の育成にとどまらず、政治分野で活躍する女性の育成も目指した企画を取り込んでいけるとよい。
  - ・政治分野を扱うについての課題も多々あり、地域ごとに環境も異なっている。しかし、少しでも前に進むために、地域の実情を踏まえての取組を、各センターが手の届く範囲で探り出し、これまでより一歩進んだ推進事業を行うことを目指したい。
  - ・個人の取組としては、議員の「成り手」を支援する「支え手」となることが大切である。

# 分科会

2019年12月1日(日) 9:30~11:30

## <分科会②>

テ ー マ	男女共同参画センターでできる、若年女性へのアプローチと支援の方法		
開催趣旨	若年女性の性暴力被害やデートDV被害、望まない妊娠などが、社会的な問題となっています。彼女たちは、誰かに相談したくても、通常の相談窓口で相談するのはハードルが高く、ひとりで悩みを抱え込んでしまう傾向にあります。そんな彼女たちに、男女共同参画センターを認知してもらい、そして支援につなげていくにはどうしたらよいのでしょうか。札幌でのガールズ相談（SNS相談）やその他の若年女性への取り組み事例を参考に、男女共同参画センターでできるアプローチや支援について、意見交換を行います。		
会 場	あいホール 203	出席者数	35名
進 行	浜松男女共同参画推進協会 近藤佳美	運営協力	越谷市男女共同参画支援センター 「ほっと越谷」作部径子、公益財団法人日本女性学習財団 田村雅子、世田谷区立男女共同参画センターらぶらす 阪口さゆみ、吹田市立男女共同参画センター 畑澤由佳、三重県男女共同参画センターフレンティみえ 北川智代
		配布資料	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ レジユメ</li> <li>・ 平成28年度ガールズ相談報告書</li> <li>・ 平成29年度ガールズ相談報告書</li> <li>・ 札幌市男女共同参画センターガイドブック</li> <li>・ りぶる さっぽろ</li> </ul>	
内 容			
<p><b>&lt;概要&gt;</b> 札幌市男女共同参画センターでのガールズ相談（SNS相談）の事例を聞いた後、各センターでの若年女性に対する取り組みや実施課題について意見交換を行った。また内閣府からも SNS 相談実施の案内があった。当日発表者の阿部さんは札幌市のセンターから参加。WEB システムで札幌と浜松を中継して発表を実施した。</p> <p><b>&lt;プログラム（進行）&gt;</b> ①札幌市男女共同参画センターで実施している「ガールズ相談」の概要や結果、課題などについて事例報告と質疑応答（発表者：阿部更さん）②グループに分かれて 1) 担当センターでの若年女性への取り組みと実施にあたってのハードル・懸念事項 2) 男女共同参画センターができることは何か？について意見交換。③回遊タイム：同じテーマに関心を持つ仲間として今後も繋がることのできるよう、会場内で交流を実施した。</p> <p><b>&lt;まとめ&gt;</b> SNS 相談のガールズ相談は、センター事業においては先進的な取り組みであり現場に関わっている阿部さんの発表は非常に参考になった。若年層のジェンダー課題を知ることの大切さ、周囲の大人たちの啓発が非常に大切であると感じられた。グループディスカッションでも「学校の大人（教師）への意識改革が必要」「高校生とのセッションで、女子学生から女性は損している、かわいそうだという声が発せられた」「女性相談を20時までやっている」と若年女性の相談が増えてきた」</p>			

# 分科会

2019年12月1日(日) 9:30~11:30

## <分科会③>

テ ー マ	地域で活躍できる女性リーダーの育成		
開催趣旨	防災、復興、災害において、女性が地域でリーダーシップを発揮するため、また、防災を通して地域へ男女共同参画の視点を届けるためには、男女共同参画センターは日ごろからどのように人材育成に取り組み、地域へ働きかけることができるのか。地域防災計画の中での位置付けや地域特性などにより、センターの立場や課題は様々だが、仙台市の取組「決める・動く」の事例発表をもとに、地域の女性リーダー育成をセンター事業としてどう取り組むか、その可能性や課題について意見交換を行う。		
会 場	あいホール 301,302,303	出席者数	34名
進 行	浜松男女共同参画推進協会 定方恭子	運営協力	ファンリテーター（埼玉県男女共同参画センター瀬山紀子、熊本市男女共同参画センター田中美帆、仙台市男女共同参画推進センター加藤志生子、発表（三重県男女共同参画センター高倉房子、久留米市男女平等推進センター長谷川峰子、全国女性会館協議会常任理事 坂田静香）
		配布資料	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・レジュメ</li> <li>・参加者名簿</li> <li>・「決める動く」 2019Report Vol.1、Vol.2</li> <li>・仙台防災講座ちらし</li> <li>・世界防災フォーラムプログラム</li> <li>・内閣府 SNS 相談チラシ</li> </ul>	
内 容			
<p><b>&lt;概要&gt;</b>          仙台市の取組「決める・動く」の事例を聞いた後、地域の女性リーダー育成にセンターがどう取り組むか、その可能性や課題について意見交換を行う。</p> <p><b>&lt;プログラム（進行）&gt;</b></p> <p>①仙台市男女共同参画推進センターエル・パーク仙台の「地域版女性リーダー育成プログラム『決める・動く』」事業の取り組み報告（報告者：成田洋美さん）</p> <p>②意見交換会          3グループに分かれ、事例報告を聞いた感想を述べあう。参加者が各地域で取り組む事業について情報交換し、今後の課題などについて意見交換後、全体で共有。</p> <p><b>&lt;まとめ&gt;</b>          仙台「決める・動く」は女性のリーダーシップ向上やエンパワメント、ネットワーク構築等を支援し、地域へ戻った後も発揮できる実践的な学びを提供するなど、センター事業として大変参考となる事例報告であった。後半の意見交換会では各グループから「講座にリーダーとつけると参加者が集まらない」「受講者のフォローアップは予算減の中、容易ではない」「他のリーダー養成講座とのすみ分けが難しい」等、センターが共通して抱える課題が出された。一方で、「来年度の参考になった」「個人の強みを生かした多様なリーダー像を見直す時期」「地域で意見を言える女性を増やすことがセンターの役割と再認識」「出会い、活躍。機会を作り出すのがセンター」などの意見が出され、最後に全体で共有した。</p>			

